



静岡県立大学創立25周年記念事業

ようこそ先輩スペシャル

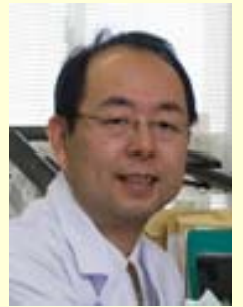
研究することの喜び

を教えてください

日時：平成23年12月13日(火) 15:00~16:30

場所：静岡県立大学大講堂

講師：榛葉繁紀先生(日本大学薬学部准教授)



演題：体内時計による生理機能調節

—時計遺伝子欠損(KO)マウスを用いた研究から見てきたもの—

16:45~17:45 質問、フリートーキング (於13402教室)

講演要旨から抜粋

現代の「24時間社会」は多くの利便性を生み出してきたが、その反面、この不自然なライフスタイルが多くの疾患のリスクファクターとなることが疫学に明らかにされつつある。地球上の全ての生物は24時間をベースにしたリズム(概日リズム)を有しており、睡眠、食欲をはじめとする生理機能の多くは日内変動を示す。

生体の概日リズムは遺伝子の中に組み込まれた体内時計とよばれるシステムに従う。このシステムは、僅か数個の時計遺伝子により構成されている。我々は、体内時計のマスターレギュレーター(BMAL1)が脂肪細胞機能の調節に重要な役割を果たしていることを2005年に明らかにした。この発見を契機に世界的に時計遺伝子による代謝制御、その乱れによる生活習慣病発症に関する研究が注目を浴び、大きく発展した。

本講演では、我々が作製した時計遺伝子欠損マウスの解析を通じて見てきた体内時計システムと疾病との関係について紹介し、また、本研究の社会的意義について述べる。

詳しくは <http://www.pha.nihon-u.ac.jp/page.jsp?id=706> を参照下さい。

榛葉繁紀先生は1991年静岡県立大学大学院薬学研究科博士課程を修了。米国ベイラー医科大学で4年間学び、95年から日本大学薬学部勤務。2006年に学術論文賞を受賞。薬学博士。静岡県出身。

問合せ先：静岡県立大学薬学部 赤井周司
akai@u-shizuoka-ken.ac.jp, 054-264-5672